

|   |   |
|---|---|
| 研究課題名   | 急性冠症候群に対する薬剤溶出性バルーンを使用したステントレスPCIの短—中期的成績の検討（後ろ向きコホート研究）  |
| 研究機関名   | 武蔵野赤十字病院 循環器科   |
| 研究責任者   | 所属 循環器科 氏名 原 信博   |
| 研究期間  | （西暦） 2020 年 7 月 ～ 2021 年 3 月  |
| 研究の意義・目的  | 急性冠症候群はPCIなどによる早期の血行再建が必要な疾患である。多くの症例ではステントを使用することになるが、術後出血性合併症に悩まされることがある。ステントを使用していると、抗血小板薬内服が必須であり、出血性合併症時に対応に苦慮することがある。<br>目的：急性冠症候群に対する薬剤溶出性バルーンを使用したステントレスPCIの治療成績を検討する   |
| 研究の方法<br>（対象期間含む）   | 2018年から2019年まで間に、急性冠症候群でPCI治療した症例を対照とする。治療後半年間の治療成績を後ろ向きに検討する。  |
| ①試料・情報の利用<br>目的及び利用方法<br>（匿名加工する場合や<br>他機関へ提供される場<br>合はその方法含む）<br><br>②利用し、又は提供す<br>る試料・情報の項目<br><br>③利用する者の範囲<br><br>④試料・情報の管理<br>について責任を有す<br>る者の氏名又は名称 | ①個人情報保護法の趣旨に沿って個人情報を取り扱う。個人情報を記載した資料（書類）は、管理責任者（調査実施責任者および担当者）の適切な管理の下、第三者からの不正アクセス、第三者への漏えい防止および紛失等その他の安全管理を厳重に行う。登録される臨床データに患者の個人情報は含まない形で保存し、匿名化が維持される。解析に使用するPCは院外に持ち出さない。<br>②患者の臨床情報として、治療効果（症候性の再発）、有害事象（出血性合併症）、画像データなどを収集<br>③武蔵野赤十字病院 循環器科 原信博 個人のみ<br>④武蔵野赤十字病院 循環器科 原信博 |
| 問合せ先  | 当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ<br><br>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1<br>武蔵野赤十字病院<br>所属 循環器科 氏名 原 信博<br><br>TEL：0422-32-3111（代表）6812（事務局内線） FAX：0422-32-3525  |